



ツバメの赤ちゃんは何を食べるの

飛んでいるチョウ、ガ、ハエ、トンボなど

ツバメは、空中を飛びながら、飛んでいるチョウ、ガ、ハエ、トンボ、コガネムシなどを、つかまえて食べます。赤ちゃんツバメにも、つかまえた虫を、そのままあたえています。ツバメは、家ののき先などに巣を作りますから、運んでくるえさを、じっさいに観察することができます。1日に何回ぐらい、どんな虫をとってくるか、などを調べてみましょう。

ツバメのひなは、一つの巣に4～5羽

一つの巣には、4～5羽のひながいます。ツバメのオスもメスも、えさを運びます。親が巣にもどってくると、ひなは大口をあけて、えさをねだります。ひなの巣にすわる場所で、えさのもらいやすさがちがうなどと、いわれています。しかし、観察によると、そんなことはないようです。

ひなが、えさをもらえる回数は、かなり大きなちがいがあります。日によっては、ほかのひなより、2倍も多くもらうひながいたりします。それでも、だいたい、同じ時期に、全部のひながぶじに育ちます。ふ化後18日め、巣立ち間近のひな5羽に、親鳥がえさを運んだ回数は、1日で285回という観察結果があります。(監修・今泉 忠明)

